



海辺・川辺調査レポート

■ 名 前 (ふりがな)	小島 大知
■ グループ名	
■ 学校名	宍道町宍道小学校
■ 学 年	3 年
■ 年 齢	10 歳
■ お手伝いしていただいた方の名前	小島一文 (父)

■ レポートした場所	島根県八束郡宍道町大字昭和1番地付近
■ レポートの題名	今も1メートルの魚が泳ぐ湖・・・「ぼくは宍道湖の魚釣り名人になりたい」
■ 内 容	<p>ぼくのお父さんは魚釣り名人です。ぼくも将来はお父さんみたいに魚釣り名人になりたいです。ぼくの住んでいる近くには宍道湖があって、よくお父さんと魚釣りをしたり、ウナギの仕掛けをしたり、エビをとったり、シジミをとったり、ここには楽しいことがたくさんあります。</p> <p>特にシジミはヤマトシジミといって日本一おいしいといわれています。宍道湖は、海水と真水が混ざり合っていて、だからシジミがおいしく、魚もたくさん住んでいて、海の魚でスズキやハゼもいます。</p> <p>今の写真は、ぼくがよく行く釣り場です。堤防道路になっていて、日曜日などはたくさんの魚釣り仲間がいっぱいになります。コイ、フナ、ボラ、スズキ(セイゴ)、ハゼ、ウナギなどが釣れます。今でもときどき10キロを超えるようなコイの大物も釣れることがあります。お父さんに聞くと、ここは昔は宍道湖の湖面だったそうです。今の国道9号線も役場があるところも昔は湖だったそうです。昔の写真は昭和10年代から20年前半のものです。</p> <p>まえに、この湖を淡水にしてしまう計画があったんだけど、まわりに住んでいる人たちが反対して、ヤマトシジミなど宍道湖の自然を守ったそうです。だから「昔よりも少なくなった」という人もあるけど、今もおいしいヤマトシジミやいろんな魚がとれるんです。今は近くに道路や建物ができて、ぼくたちが毎日ふつうの生活をしているんだけど、そのすぐ近くの水辺に1メートルはあろうかという魚がゆうゆうと泳いでいるなんてすごいことだよ。ぼくはここが大好きです。だから昔の人が宍道湖の自然を守ってきたように、ぼくたちも魚釣りなどを楽しみながら、ゴミ</p>

などをすてないようにして守っていきたいと思います。

